

平成24年度事務事業評価 議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 2-2-4 緊急一時避難場所誘導看板等設置事業

【予算反映等改善事項】

平成24年度においては、南海トラフ巨大地震等による津波が発生した場合に緊急一時避難場所へ迅速に避難するため、主として金磯町、横須町の津波避難困難地域在住の市民を対象とした避難誘導看板を主要な17箇所に設置し、緊急一時避難場所及び避難路の周知に努めたところである。

平成25年度の関連事業に関しては、「津波対策の推進に関する法律」に基づく津波避難計画の策定に取り組んでいるところであり、この中で各小学校区における避難場所、避難路等の必要な情報を盛り込み、公表・周知を行うこととしている。なお、この策定事業の成果品として津波ハザードマップを作成し、次年度当初にも市内全ての世帯に配布して周知を図る予定としている。

また、本市のホームページ上において「災害に備える高さマップ」を整備・公開し、市内のあらゆる地点における海拔及び想定浸水深等の確認を可能としたところであり、これを情報収集手段として積極的に活用することで、自助・共助の取り組みを更に推進して参りたいと考えている。

これらに加え、市内約200箇所のカーブミラー、防災行政無線柱等において、その場所の海拔を表示する事業も併せて進めているところであり、パソコンの活用が困難な方に対しても、市内各地域においてその場所の海拔が確認できるよう、諸施策の充実を図っているところである。

今後、こういった施策に関する情報発信に努めるとともに、これらの施策を複合的に組み合わせることで活用することにより、市民の皆様に対し、自身の居住地周辺における緊急一時避難場所及び避難路並びに海拔等の情報に関する一定程度の周知が可能になっていると考えられる。

このようなことから、市議会からの「拡充する」との評価を踏まえ、本事業及び関連事業に係る内容の充実を図ることを前提に、これまでの本事業に関する方向性を堅持しつつ創意工夫により新たな発想を加味することとし、次年度に向けては観光又は通勤、通学、買い物等により一定程度の集客が見込まれる施設（公園、駅、体育・文化施設、商業施設など）を利用する方を対象として、周辺の避難場所・避難路などを示した案内看板の設置等を進めることを想定し、必要な予算の確保に努めたいと考えている。